

わらび WARABI

市議会 だより

No.198

2017・6

編集

蕨市議会広報広聴委員会
TEL/048-433-7733
FAX/048-432-7991
Eメールアドレス
gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

平成29年度予算を可決	P 2
市庁舎整備の検討が始まります	P 4
平成29年度予算会派代表質疑	P 6
頼高市長のあったか市政を問う	P 8
3月定例会における賛否結果	P15
6月定例会の日程・編集後記	P16

ご意見をお寄せください

今回の表紙写真は、5月14日に中央公民館において開催した「議会報告会」の様子です。当日は42人の市民の方々が参加され、貴重なご意見をいただくことができました。市議会では、これからも市民の方々に身近に感じていただけるような議会を目指し、議会改革を推進していきます。ぜひ、今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。

3月定例会において全9会計の 平成29年度予算を可決

3月定例会の概要

3月定例会は、2月24日から3月23日まで
の28日間の会期で開催されました。

2月24日 開会日

市長から平成29年度の施政方針表明が行わ
れたほか、平成29年度予算を含む、提出議案
の提案説明がありました。

3月2・3・6日 質疑

提出議案に対する質疑が行われました。一
般会計予算に対する質疑では、各会派の代表
者から、多岐にわたり様々な質疑がなされま
した。(6・7ページ参照)

3月7・8・9日 委員会

総務・環境福祉経済・教育まちづくり常任
委員会で議案に対する審査が行われました。

3月16・17・21日 一般質問

一般質問では、蔵駅の安全対策の推進や、
公共施設の将来的なあり方を示す「公共施設
等総合管理計画」など、13人の議員が市政の
重要課題を取り上げ、執行部の見解を問いま
した。(8・14ページ参照)

3月23日 閉会日

陳情1件を不採択とし、33件の市長提出議
案を原案のとおり可決したほか、3件の議員
提出議案を原案のとおり可決して、閉会とな
りました。

平成29年度予算総額は46億2千395万9千円(前年度比1.4%増)に

◆自主財源の確保

平成28年度の実績を踏ま
えて、ふるさとわらび応援基
金寄附金の増額を見込んでい
ます。

また、収納対策の強化とし
て、一斉催告時にコンビニ納
付が可能な滞納分納付書を送
付し、納付利便性の向上によ
る早期納付の促進を図ります。

◆子育て支援

平成29年4月から中央3
丁目、新たに1つの民間認
可保育園が開園しています。

また、留守家庭児童指導室
は、中央東地区の施設を2階
建てにするなど4施設増え、
計16施設に拡充します。

さらに、錦町児童館の耐震
補強工事の設計費用や、すべ
ての市立保育園に防犯カメラ
を設置するなど施設整備を
実施します。

◆健康な暮らし

乳がん検診の集団検診実施
日数を17日間から、20日間に
拡充します。

また、平成28年度に引き続
き「ウォーキングと筋力アッ
プで健康密度も日本一プロジ

エクト」事業を実施します。

◆母子保健事業

医師が不妊症の診断に必要
と認めた検査について、その
費用の一部を助成します。

また、父親の育児参加を促
し、良好な家族関係を築きき
つかけとして、父親向けの育
児に関する講座を開催します。
さらに、妊婦歯科健診を個
別健診とするための経費など
を計上しています。

◆高齢者支援

市内(中央7丁目)に新た
な特別養護老人ホームを設置
するため、用地確保協力者に
対し、固定資産税・都市計画
税の課税相当額を交付します。

また、高齢者の閉じこもり
の予防や地域交流などの居場
所づくりを進めるために、住
民自らが運営する高齢者サロ
ンを支援する補助金を新たに
計上しています。

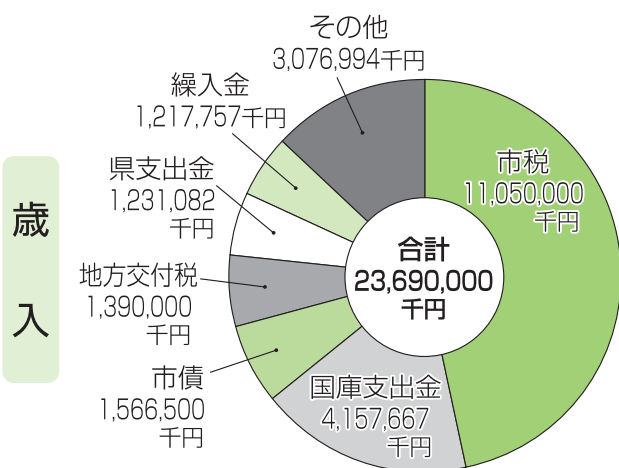
さらに、埼玉県地域包括ケ
アシステムモデル事業のモデ
ル自治体として、自立促進に
つなげるケアプランの作成を
支援する「地域ケア会議」を
新たに実施します。



地域の安全のために防犯カメラを設置します

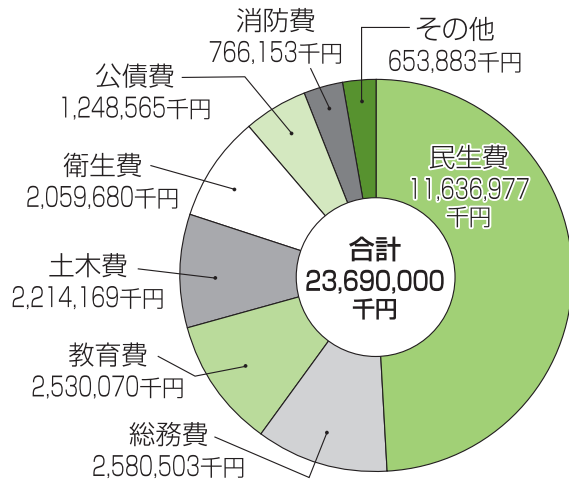


平成29年度一般会計予算 236億9,000万円（前年度比1.8%の増）の内訳



特別会計 単位：千円

会 計 名	本年度予算
国民健康保険特別会計	9,073,000
公共下水道事業特別会計	1,632,000
錦町土地区画整理事業特別会計	1,474,000
介護保険特別会計	4,884,000
後期高齢者医療特別会計	829,000
公共用地先行取得事業特別会計	70,000
合 計	17,962,000



企業会計 単位：千円

会 計 名	予算科目	本年度予算
病院事業会計	収益的支出	3,264,340
水道事業会計	収益的支出	1,307,619
合 計		4,571,959

歳市全体の予算 単位：千円

会 計 名	本年度予算
一 般 会 計	23,690,000
特 別 会 計	17,962,000
企 業 会 計	4,571,959
合 計	46,223,959

◆**シティプロモーション**
平成28年度に決定した「蔵ブランド」認定品や、蔵市マスコットキャラクター「ワラビー」「エンジェルわらび」のグッズ製作、原動機付自転車のご当地ナンバプレート（ナンバー）の交付など、市内外に蔵市の魅力をPRします。

◆**住環境の整備**
地域の方々の意見を取り入れた設計を基に、塚越1丁目の末広公園を改修します。

また、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムとして今年度に限り、木造住宅耐震改修補助金を2倍に拡充し、耐震対策の促進を図ります。

さらに、錦町土地区画整理事業では、建物20棟分の移転補償金や、県送配水管の撤去費、仮設住宅の新築並びに改修費などを計上しています。

◆**災害への備え**
消防資機材であるスタンドパイプの普及を図り、自主防災会への支援を強化します。

また、国の被害想定が更新されたため、洪水ハザードマップを改定する費用を計上するなど、災害対策の一層の強化を図ります。



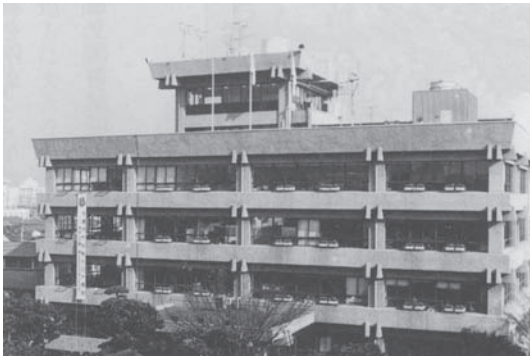
福祉・児童センター内の教育センターに日本語特別支援教室が設置されます

◆**生涯学習環境の整備**
中央公民館の耐震補強等工事や図書館の耐震補強設計、錦町スポーツ広場の人工芝化を含む改修を実施します。

また、市民体育館と錦町スポーツ広場についてのリニューアルイベントを実施します。

◆**学校教育環境の整備**
教育センターの機能充実を図るため、教育の知識や経験を持つ統括相談員や、在住外国人児童・生徒と、その保護者への対応を支援する日本語特別支援教育支援員を新たに配置します。

また、東小学校校庭の一部芝生化や、西小・中央東小学校、東中学校のトイレ改修費などを計上しています。



昭和39年5月竣工の市庁舎

蕨市庁舎整備検討審議会において

市庁舎整備の 検討が始まります！

蕨市庁舎整備等の状況

昭和39年 5月 市庁舎竣工

平成 8年 2月 耐震診断調査を実施

- ・耐震性能が低く補強が必要との判定が出される。

平成19年 5月「蕨市庁舎整備検討委員会」を設置

- ・市庁舎整備のあり方等を検討する庁内組織。

平成23年 6月～24年 1月 軸耐力等補強工事を実施

- ・軸耐力等補強工事とは、建物の層崩壊を防ぎ避難路を確保するためのもの。耐震性を向上させる工事とは異なる。

平成28年 6月「蕨市庁舎整備検討委員会」設置要綱を一部改正

- ・部長級職員を委員長とする庁内組織に改めて、市庁舎の耐震化整備について検討し、「庁舎整備検討報告書」を作成。

平成29年 4月「蕨市庁舎整備検討審議会」を設置

- ・「庁舎整備検討報告書」を基礎資料として、市庁舎整備の基本的なあり方等に関し検討及び審議する、市民・市議会議員・有識者等13名で構成される審議会。

3月定例会において、議案第1号「蕨市庁舎整備検討審議会条例」を可決しました。この審議会は、市庁舎整備の基本的なあり方に関して、必要な検討及び審議を行います。

昭和39年に竣工した市庁舎は53年が経過し、建物及び設備の老朽化が進み、狭隘化やバリアフリー化など、多くの課題を抱えています。とりわけ、耐震性能が低く、現行の耐震基準に達していないことから、市庁舎の耐震化整備が重要な課題となっていました。

このような状況の中で、市がこれまで優先的に進めてきた学校・保育園・公民館・体育館等の耐震化整備の見通しが立ったことや、「市庁舎整備基金」が10億円という一定額に達したことから、市庁舎の耐震整備についても現実的な対応が可能となりました。

また、市議会では、平成28年6月定例会において、「蕨市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める決議」（下記参照）を全会一致で可決し、市庁舎の耐震化整備の必要性を訴えてきました。

市庁舎は、市民サービスや災害対応の拠点であります。その整備については多額の財政負担を伴います。

「蕨市庁舎整備検討審議会」では、公募による市民、市議会議員、学識経験者、公共団体等

の推薦する者によって構成される13名の委員により、現庁舎の耐震改修や市庁舎の建て替えなど、耐震化整備の方向性について、6カ月程度の審議期間を経て、本年秋頃に最終答申を出す予定としています。

蕨市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める決議

蕨市議会では、市の防災力の強化を図るために、早急な市庁舎整備が必要であると判断し、平成28年6月定例会において、本決議を全会一致で原案のとおり可決しました。決議文の概要は次のとおりです。

概要

本市庁舎は52年が経過し、老朽化が進んでいる。本市で震度6クラスの強い揺れを観測した場合、市庁舎が深刻な被害を受けることは容易に想像できる。災害時の防災拠点に位置付けられている市庁舎の耐震化は、本市の最重要課題の一つとなっている。

これまで市は、子どもたちの命を守る、あるいは災害時の避難所として機能させるために、小・中学校等の耐震化を優先的に実施してきた。また、公共施設の計画的な維持保全などの方針を示す「公共施設等総合管理計画」を28年度中に策定する予定であり、

それと並行して、市庁舎の耐震化整備も検討されることが示されているが、整備計画の早急な具体化が必要である。

市は、市庁舎が被災した場合に、災害対策本部を消防本部に設置するとしているが、より迅速な対応が求められる災害時には、市役所に設置することが望ましく、市庁舎の耐震化を図ることが市の防災力の強化につながることを考える。

よって、公共施設全体の耐震化を進めながらも、市の防災力の強化を図るために、市庁舎の建て替え又は大規模改修等による耐震化整備を早急に実施することを強く求める。

平成29年度一般会計予算に 対する附帯決議を可決

3月定例会では、議案第21号「平成29年度蕨市一般会計予算」を可決した後、議員提出議案第1号「議案第21号『平成29年度蕨市一般会計予算』に対する附帯決議」が新生会と公明党の代表者から提出され、質疑・討論を経て、民進党も賛成し、賛成多数で原案のとおり可決しました。

本附帯決議の内容と、反対討論の要旨は次のとおりです。

賛成 新生会・公明党・民進党

附帯決議の内容 本予算のうち市民会館等の耐震補強等事業に疑義がある。

「庁舎整備検討報告書」には市庁舎耐震化整備方法の一案として、「市民会館との複合施設」が示され、本事業を実施することと整合性がとれていないと判断する。

本年秋ごろまでの答申を目的とする「蕨市庁舎整備検討審議会」において、議論の基礎資料となる同報告書の記述がこのままでは、同審議会での議論に影響を及ぼすことが懸念される。また、本事業は、市議会が要望していた中央公民館等へのエレベーター設置などのバリアフリー化に、まったく配慮されていない。よって、次の事項を履行するよう強く求める。

1 同報告書の記述内容を再検討するとともに、本事業が審議会の審議に影響しないような対策を施すこと。

2 本事業に合わせてバリアフリー化に配慮した改修工事を実施すること。また、平成29年6月定例会に中央公民館等へのエレベーター設置の設計委託料を予算計上すること。

反対 日本共産党

市庁舎整備の「市民会館との複合施設」案でも着工までの7年間の安全確保に耐震化は必要であり矛盾はない。これに対する指摘等はなく、整合性を欠くとの指摘は一方的。また、6月定例会でのエレベーター設計委託料の予算計上は、実質2か月間と、検討や作業に必要な期間が考慮されていない。市民要望に沿った構想が必要であり、附帯決議は適切なバリアフリー化にもマイナス。エレベーター設置は日本共産党も要望しているが、以上2点を指摘し反対する。

反対 無所属

審議会に影響が出ない対策を求めながら、同時に、審議に影響があるエレベーター設計委託料の計上を求めることは、内容に矛盾があるので反対する。

蕨駅の安全対策を求める 意見書・決議を可決

次の意見書と決議については、議員提出議案として3月定例会最終日に議会に提案され、全会一致で原案のとおり可決しました。意見書については、国や関係機関等に送付しています。

◆蕨駅に早期にホームドアを設置し安全対策を求める意見書

本年1月、蕨駅において、視覚障害者の男性が線路に転落し、電車に接触した事故で尊い命を落とされた。

JR東日本は、この事故を受け、蕨駅のホームドアの設置を当初の予定より一年前倒して、平成31年度末までに工事を完成させると変更した。蕨駅の一日の乗降客は約12万人いるにもかかわらず、ホームの幅は狭く、混雑時は歩くのにも苦労する状況があり、安全性の高いホームドアの設置は急務である。

よって、誰もが命の危険にさらされることなく公共交通機関を安心して利用できるよう、現実には痛ましい事故が起きてしまった蕨駅に、より安全性の高いホームドアを一日も早く設置し、安全対策を推進することを強く要望する。

◆蕨駅に早期にホームドアを設置し安全対策を求める決議

市は、今回の転落事故を受け、JR東日本大宮支社等に対して、蕨駅へのホームドアの早期設置の要望など、再発防止に向けた取り組みに努めてきた。

また、市議会においても、各議員がそれぞれの立場で安全対策に向けた活動を実施してきた。安心して蕨駅を利用するため、すべての駅利用者の転落を防ぐことができるホームドアの設置は急務であり、また、ホームドアが設置されるまでの期間においては、このような事故を二度と起こさないためにも、継続した安全対策が必要となる。よって、市においては、より安全性の高いホームドアの一日も早い設置を目指し、ハード・ソフト両面による安全対策の推進について、引き続き最大限の努力を行うことを強く求める。

解説！議会用語

・附帯決議

審議の対象となった案件(議案等)の議決に当たり、その議決に付ける意見や要望のことをいいます。附帯決議は法的拘束力はなく、事実上の意見表明になります。

・決議

議会が行う意思形成行為で、政治的效果をねらうことや議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由でなされる議決のことをいいます。

平成29年度 一般会計予算

会派代表質疑

代表質疑とは…

3月定例会において、新年度一般会計予算に対し、2人以上で構成する会派の代表者が、質疑をする制度です。

3つの会派の代表者が多くの時間を費やし、白熱した議論を展開しました。



平成29年度予算の特徴と主な施策について

新生会

池上 智康



予算編成方針について

議員 地方財政計画の概要と予算への影響はどのようか。また、自主財源と依存財源の比率及び今後の課題はどうか。

総務部長 平成29年度地方財政計画では、地方交付税の総額が16兆3千298億円で前年度比22%の減、臨時財政対策債は4兆452億円で前年度比6.8%の増などとなっている。本市の当初予算編成において、臨時財政対策債は、28年度実績や地方財政計画の伸び率を勘案して10億1千万円と見込み、普通交付税は、28年度実績や地方財政計画の実質的な地方交付税の縮減率などを勘案し、13億4千万円を計上した。

自主財源と依存財源の

比率は、市税を初めとする自主財源が59.1%、国・県支出金などの依存財源が40.9%となっている。課題については、国・県支出金の活用を図ること、自立した財政運営に向け、自主財源の確保が重要と考えている。

市庁舎整備について

議員 都市基盤の再整備に向けて「公共施設等総合管理計画」が策定されるが、市庁舎整備の基本的な考え方はどのようか。

総務部長 市民サービスや災害対応の拠点である市庁舎の整備は、市の将来に与える影響が大きいことから、市民、議会、有識者等で構成する「蔵市庁舎整備検討審議会」による検討及び審議を経て、基本的なあり方を早急に決定していきたい。

地域包括ケアシステムの構築に向けた総合的な取り組みを

議員 自立促進・介護予防・生活支援の3つの事業で、まち全体が支えあうことが肝要だが、総合事業の内容はどのようか。

健康福祉部長

新しい総合事業は、従来の介護予防訪問介護、介護予防通所介護に相当するサービス及びそれらを利用するためのケアプラン作成に係る介護予防・生活支援サービス事業と、すべての高齢者を対象にした運動器・口腔機能向上教室、認知症予防教室の開催や「いきいき百歳体操」の普及、地域包括支援センターへの委託事業など的一般介護予防事業で構成されている。

シティプロモーションの推進について

議員 シティプロモーションを手段として、何を目指し、どのように本市をPRしていくのか。

総務部長 本市の地域資源や魅力を市内外にアピールして蔵のまちを知っていただき、興味・関心を持ったものを実際に行動・体験することで好きになってもらい、その結果、蔵のまちに住んでみたい、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを推進し、「選ばれる都市」を目指していきたい。

市民のくらしを応援「あったか市政」の推進を



日本共産党
山脇 紀子

予算編成方針と地域経済等の状況

議員 予算編成方針と優先した重点施策は、

総務部長 「市民の安心と未来へのステップ」として、「超高齢社会を見据えた3つの埼玉県モデル事業の推進」「蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発の推進」「市庁舎の耐震化」の3つの重点事業を踏まえた予算措置を講じた。また、市長マニフエストの実現や、将来ビジョンに掲げるまちづくりの6つの基本目標及び推進プランに基づく施策の推進に向けた取り組みを重点施策として、事業の優先度をはかりながら、集中と選択による予算編成に努めた。

議員 市民税の積算根拠及び個人所得や市内企業

の経営の状況はどうか。

総務部長 市民税個人分は納税義務者数が増加傾向と見込み増額。法人分は、円高の影響による輸出関連企業の業績悪化からの回復に時間を要するとの見込み減額。個人所得はやや上向き傾向にあるものの、実質賃金は上がっており、個人消費に結びついていない。

公共施設の耐震化等はどう進められているか

議員 公共施設等総合管理計画に基づいた予算措置及び市庁舎整備に基づく予算措置はどうか。

総務部長 公共施設等総合管理計画において、公共施設等の管理に関する基本的な考え方として、「点検・診断等の実施方針」「更新・改修の実施方針」「耐震化の実施方針」「長寿命化の実施方針」等を示す。この方針に基づき、市営住宅改修工事、市民会館等耐震補強等工事、市民体育館等耐震補強等工事を行うほか、市庁舎の耐震化整備方法の調査研究を行うとともに、市庁舎整備のあり方を審

議に諮り検討を進める。

都市整備部長 老朽化した橋りょうの増加に対応するため、予防的な修繕等への転換により、安全性の向上や維持管理費の削減を目指した橋りょう長寿命化修繕計画を策定。

財政健全化の進捗は

議員 2017年度末の市債残高の推移と土地開発公社経営健全化の進捗は。

総務部長 一般会計を含む各会計と土地開発公社の合計で約307億9千500万円（前年比1億3千700万円の減）の見込み。土地開発公社の経営健全化は計画通り進んでいる。

特別養護老人ホームの整備

議員 市内4か所目となる特別養護老人ホームの開設の見通しと規模は。

健康福祉部長 社会福祉法人畏敬会が平成31年2月に開設予定（中央7丁目）。施設はRC造3階建てで特養90床（多床室50床、ユニット型個室40床、シヨートステイ10床を整備する予定となっている）。

安全なまちづくりを目指して



市民生活の向上に向けて、平成29年度予算編成の内容と市政運営を問う！



公明党
松本 徹

地方交付税について

議員 地方を取り巻く財政の環境が一段と厳しさを増している中で、自主財源に乏しい本市にとつては、地方交付税が大変貴重な財源である。基準財政需要額と収入額をどのようにに積算したのか。

総務部長 地方財政対策の概要や県からの情報、交付実績等を勘案し、基準財政需要額を104億1千万円とした。基準財政収入額については、90億7千万円と見込み、その差額13億4千万円を普通交付税として計上した。

安全なまちづくりを目指して

議員 だれもが犯罪のない安全な暮らしを望んでいる。その推進を図るために、市民の防犯意識の向上や防犯組織の活動支援等に取り組む必要があるが、新規事業を含む防犯対策はどのようなか。

市民生活部長 蕨駅東西口周辺において、駐輪・防犯指導の夜間見回りを実施するための費用や、市内すべてのLED防犯灯の借上料などを計上している。また、新規事業である街なか防犯力メラ借上料では、市内の公道を中心に市が設置する防犯力メラ140基の借上料6か月分を計上している。

妊婦健診について

議員 妊婦一般健康診査委託事業は、私ども公明党が強力に推進して健診の無料化を拡充してきた。事業内容はどのようなか。

健康福祉部長 母子健康手帳交付時に14回分の妊婦健康診査が受けられるように、妊婦健康診査受診票・助成券を交付するものであり、助成券を使用できない病院では、償還払いも可能である。

蕨駅西口再開発事業について

議員 市民のだれもが住み続けたいと考える快適都市の建設は急務である。また、駅前はそのまちの玄関口であり、顔である。駅西口再開発事業の今後の計画はどのようなか。

都市整備部長 第二・第三工区については、事業化に向けた活動を行っている準備組合と連携を図りながら、権利者の合意形成や関係機関との協議など、都市計画の変更に向けた作業を進めていく。